

北朝鮮の弾道ミサイル発射に係る授業の取扱い等について

1 登校前に J アラートの緊急情報が愛知県に発信された場合

ア 生徒は自宅待機とする。

イ その後、「日本の上空をミサイルが通過し、領海外に出たとの情報」や「日本の領海外へ落下したとの情報」が発信された場合は、自宅待機を解除し、生徒は速やかに登校する。

ウ なお、「日本の領土内・領海内へ落下したとの情報」が J アラートにより愛知県に発信された場合は、生徒は自宅待機を継続する。

2 学校活動中に J アラートの緊急情報が愛知県に発信された場合

ア 生徒は学校活動を中断する。

イ その後、「日本の上空をミサイルが通過し、領海外に出たとの情報」や「日本の領海外へ落下したとの情報」が発信された場合は、生徒は学校活動を再開する。

ウ なお、「日本の領土内・領海内へ落下したとの情報」が J アラートにより愛知県に発信された場合は、生徒は安全確認ができるまで校内の安全な場所で待機する。安全確認ができ次第、学校活動の継続等を行う。

※ その後の学校の対応については、保護者のみなさまへは学校ホームページやきずなネット等で連絡します。

(注意)

・ J アラートの緊急情報が愛知県に発信されるのは、「中部・近畿・中国地方」への落下または通過が予測される場合です。

・ 弾道ミサイル落下時の行動については、別紙リーフレットに掲載されていますので、ご確認ください。

Jアラートの緊急情報が発信された場合の授業の取扱い等について

1 登校前

(1) Jアラートの情報が発信され、ミサイルが
日本の領土外・領海外に落下した場合

Jアラート
愛知県へミサイル発射情報



学校の対応
自宅待機してください。



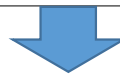
Jアラート
ミサイル通過情報(※)または、 日本の領海外への落下情報 ※ ミサイルが日本の領土・領海の上空を通り、領海 外に出た場合に発出される情報



学校の対応
自宅待機解除とします。

(2) Jアラートの情報が発信され、ミサイルが
日本の領土内・領海内に落下した場合

Jアラート
愛知県へミサイル発射情報



学校の対応
自宅待機してください。



Jアラート
日本の領土内・領海内への落下情報



学校の対応
自宅待機継続とします。



学校の対応
県教育委員会からの、自宅待機の解除・継続や 臨時休業等の対応についての指示を受け、本校 ホームページまたはきずなネットで生徒・保護 者へ連絡します。

注：日本の領土内・領海内にミサイルが落下したが、愛知県にJアラートの情報が発信されなかった場合は、原則として平常どおり授業等を行います。ただし、県教育委員会が必要と判断した場合は、自宅待機、臨時休業等の措置を指示することがあります。

2 学校活動中

(1) Jアラートの情報が発信され、ミサイルが
日本の領土外・領海外に落下した場合

Jアラート
愛知県へミサイル発射情報



学校の対応
学校活動を中断します。 国から示された「弾道ミサイル落下時の行動について」に基づいた行動（避難態勢）をとります。



Jアラート
ミサイル通過情報(※)または、 日本の領海外への落下情報 ※ ミサイルが日本の領土・領海の上空を通り、領海 外に出た場合に発出される情報



学校の対応
学校活動を再開します。

(2) Jアラートの情報が発信され、ミサイルが
日本の領土内・領海内に落下した場合

Jアラート
愛知県へミサイル発射情報



学校の対応
学校活動を中断します。 国から示された「弾道ミサイル落下時の行動について」に基づいた行動（避難態勢）をとります。



Jアラート
日本の領土内・領海内への落下情報



学校の対応
安全確認ができるまで 校内の安全な場所で待機とします。



学校の対応
県教育委員会からの指示を受け、学校待機の解除・継続等を行うとともに、本校ホームページまたはきずなネットで保護者に連絡します。

注：日本の領土内・領海内にミサイルが落下したが、愛知県にJアラートの情報が発信されなかった場合は、原則として引き続き授業等を行います。ただし、県教育委員会が必要と判断した場合は、安全な場所での待機等の対応を指示することがあります。



弾道ミサイル落下時の 行動について

弾道ミサイルは、発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性もあります。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、国からの緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート」を活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報をお知らせします。

①速やかな避難行動

②正確かつ迅速な情報収集

行政からの指示に従って、**落ち着いて行動してください。**



国民保護ポータルサイト

武力攻撃やテロなどから身を守るために



事前に確認しておきましょう。

http://www.kokuminhogo.go.jp/shiryou/hogo_manual.html

—— ミサイル落下時には、こちらから政府の対応状況をご覧になれます ——



首相官邸
ホームページ
www.kantei.go.jp/



Twitterアカウント
首相官邸災害・危機管理情報
[@Kantei_Saigai](https://twitter.com/Kantei_Saigai)



Jアラート（例）直ちに避難。直ちに避難。直ちに建物の中、又は地下に避難して下さい。ミサイルが落下する可能性があります。直ちに避難して下さい。

メッセージが流れたら

落ち着いて、直ちに行動してください。

屋外に
いる場合

**近くの建物の中か
地下に避難。**

（注）できれば頑丈な建物が望ましいものの、近くになれば、それ以外の建物でも構いません。

建物が
ない場合

**物陰に身を隠すか、
地面に伏せて頭部を守る。**

屋内に
いる場合

**窓から離れるか、
窓のない部屋に移動する。**

近くに
ミサイル
落下！

●屋外にいる場合：口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。

●屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。